

市町村未来づくり交付金自己評価調書

1 事業群評価調書

団体名：八幡市

| | | | |
|--|---|--------------------|--|
| 重点目標 | <p>「自然と歴史文化が調和し 人が輝く やすらぎの生活都市 ～自立と協働による個性あふれるまちづくり～」</p> <p>八幡市の主要課題 人権を尊重しだれもが輝く地域づくり、これからの”八幡”を担う人づくりの推進 地域資源を活かしたまちづくりと新しい都市イメージの形成 みんなが安心して暮らせるまちづくりの推進 活力あふれる人がつどう交流のまちづくりの推進 健全な行財政運営と協働によるまちづくりの推進</p> | | |
| | 事業群 | 構成事業名 | |
| 人がつどい、活力あふれるまち ～産業振興、交通、道路、情報通信～（事業群 e） | | バス停ベンチ設置事業 | |
| | | 石清水八幡宮観光用トイレ改良支援事業 | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| 事業群全体による 成果の概要 | <p>○バス停ベンチ設置事業 交通弱者の高齢者、障がい者、妊産婦等がバスを利用する際、待ち時間の負担を軽減し、バス利用者の利便性が向上したことにより、交通機関利用を促進し、エコ社会につながる取り組みができた。</p> <p>○石清水八幡宮観光用トイレ改良支援事業 観光目的での来訪者に清潔で快適な環境を提供することで、観光施設としてのイメージアップにつながり、観光客の増加に寄与することができた。</p> | | |
| | <small>※本年度の成果について、客観的な数値により評価できる場合は下欄に記入すること。また、複数の指標がある場合は適宜欄を追加すること。</small> | | |
| | 成果指標 | 実績値 | |
| | 指標式等 | | |

(記載要領)

- 1 重点目標、事業群ごとに本様式を作成し、評価するものであること。
- 2 成果の概要については、できる限り客観的な数値によること。

2 個別事業評価調書

団体名:八幡市

| | | | | | | |
|-----------|--------|--|--------|---------|--------|---------|
| 事業名 | | バス停ベンチ設置事業 | | | | |
| 事業の概要 | | 市内路線バスの停留所にベンチを設置し、バス利用者に利便を図り、交通機関利用を促進した。 | | | | |
| | | ベンチ設置可能箇所 路線バス 53ヶ所 | | | | |
| | | 21年度事業 25箇所 2,205,000円 22年度事業 28箇所 2,394,000円 | | | | |
| 事業期間 | | 平成22年11月18日～平成23年1月11日 | | | | |
| 総事業費 | | 4,599千円 | 本年度事業費 | 2,394千円 | 交付金交付額 | 1,200千円 |
| 事業評価 | 事業の必要性 | バス停ベンチはバス利用者が快適にバスを利用できるよう、特に高齢者や障がい者、妊産婦等がバス待ちの間利用するために必要である。 また、交通機関利用を促進し、エコ社会に向けた取り組みとしても必要である。 | | | | |
| | 事業の有効性 | ベンチの新設・更新により、従前より多くの乗客がベンチを利用しやすくなった。バスの待ち時間をより快適に過ごせることは、バス利用者の利便性向上につながり、交通機関利用の促進が期待できる。 | | | | |
| | 事業の効率性 | 市内の路線バスのバス停の中で、設置可能な箇所を選定し、2年間にわたり計画的に設置することにより、市内全域の住民が利用する範囲で整備が行えた。 | | | | |
| | 具体的な成果 | 1 府と市町村等との連携に資する成果 | | | | |
| | | 2 住民の自治意識を高める成果 | | | | |
| | | 3 リーディング・モデル成果 | | | | |
| 4 広域的波及成果 | | | | | | |
| | | 5 行財政改革に資する成果 | | | | |
| | | 6 その他の成果 交通弱者の高齢者、障がい者、妊産婦等がバスを利用する際、待ち時間の負担を軽減し、バス利用者の利便性が向上したことにより、交通機関利用を促進し、エコ社会につながる取り組みができた。 | | | | |

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

2 個別事業評価調書

団体名:八幡市

| | | | | | | |
|--|--------|---|--------|---------|--------|---------|
| 事業名 | | 石清水八幡宮観光用トイレ改良支援事業 | | | | |
| 事業の概要 | | 石清水八幡宮境内の公衆トイレは建築後20年を経過し、バリアフリーの視点や清潔感に欠けていたため、八幡宮において公衆トイレの改良を行い、かかる事業費に対して助成を行った。 | | | | |
| | | 総事業費 28,800千円 内訳 水洗化下水道配管工事等 12,800千円 公衆トイレ改修工事 16,000千円 | | | | |
| | | ※うち公衆トイレ改修工事のみ助成対象とし、その工事費の1/2を助成した。 | | | | |
| 事業期間 | | 平成22年7月1日～平成22年9月30日 | | | | |
| 総事業費 | | 28,800千円 | 本年度事業費 | 8,000千円 | 交付金交付額 | 4,000千円 |
| 事業評価 | 事業の必要性 | 石清水八幡宮境内の公衆トイレは築20年を経過していること、また水洗でないことにより清潔感やバリアフリーの観点に欠けている。観光目的での来訪者に快適な環境を提供するために必要である。 | | | | |
| | 事業の有効性 | トイレの整備は、様々な施設にとって、利便性の向上、利用者増のために、重要な部分と考えられる。今回の整備により、観光目的での来訪者に快適な環境を提供することで、観光客の増加を図ることができる。 | | | | |
| | 事業の効率性 | 市の代表的な観光地のひとつである石清水八幡宮のトイレのバリアフリー化、美装により、石清水八幡宮のみならず、八幡市の他の施設への来訪者の増加につながることを期待できる。 | | | | |
| | 具体的な成果 | 1 府と市町村等との連携に資する成果 | | | | |
| | | 2 住民の自治意識を高める成果 | | | | |
| | | 3 リーディング・モデル成果 | | | | |
| 4 広域的波及成果 | | | | | | |
| 5 行財政改革に資する成果 | | | | | | |
| 6 その他の成果 観光目的での来訪者に清潔で快適な環境を提供することで、観光施設としてのイメージアップにつながり、観光客の増加に寄与することができた。 | | | | | | |

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。